

平成29年1月伊勢原市教育委員会定例会議事録

平成29年1月24日（火）午前9時30分から伊勢原市教育委員会定例会を伊勢原市役所第2委員会室に招集した。

1 出席した委員は次のとおり。

委員長	永井武義
委員長職務代理者	重田恵美子
委員	菅原順子
委員	渡辺正美
教育長	鈴木教之

2 会議説明のための出席者は次のとおり。

教育部長	谷亀博久
学校教育担当部長	大高敏夫
歴史文化推進担当部長	山口 讓
教育総務課長	古清水千多歌
学校教育課長	守屋康弘
指導室長	石渡誠一
社会教育課長	小谷裕二
文化財課長	立花 実
スポーツ課長	小巻宏幸
教育センター所長	本多由佳里
図書館・子ども科学館係長	諏訪間 伸

3 会議書記は次のとおり。

教育総務課 総務係長	瀬尾哲也
------------	------

4 議事日程

議事	日程第1	前回議事録の承認
	日程第2	教育長報告
	日程第3	議案第1号 平成29年度伊勢原市立小中学校で使用する体育の教材について
	日程第4	議案第2号 平成28年度伊勢原市教育委員会表彰被表彰者の決定について
	日程第5	議案第3号 平成28年伊勢原市スポーツ賞表彰被表彰者の決定について

日程第2 教育長報告

○委員長【永井武義】 日程第2「教育長報告」をお願いいたします。

○教育長【鈴木教之】 2件あります。1件目が教育行政に関する国及び県の動向です。2件目が先般開催されました成人式の参加実績です。

まず、国・県の動向でございます。資料の1-1を御覧ください。この資料は、12月22日に閣議決定された平成29年度文部科学省関係の予算(案)を抜粋したものです。主な内容を紹介いたします。

まず教職員の定数の関係です。資料の2ページになります。文部科学省では、平成29年度から38年度の10年間で、現在の国の加配定数の約64,000人のうち、3割を基礎定数化することを打ち出しており、29年度は473人を定数化したいという考えです。

内容としましては、通級指導、外国人児童生徒等教育の充実のための基礎定数化です。また、加配定数の充実ということで、小学校の専科指導、いわゆる教科担当制の充実、あるいは、いじめ・不登校や貧困対策などで395人を増やしたいといった内容です。

その一方で、教職員の自然減があります。子どもが減っていきますので、全国で4,150人という内容になっております。

いずれにしても、国としては教職員の定数について、前向きな方向性を打ち出したということです。

次に3ページを御覧ください。特別支援教育の充実、いわゆるインクルーシブの推進等で、5億円増額の25億円という内容です。

4ページを御覧ください。ここでは貧困・いじめ・不登校対策等で、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置の充実という内容です。また、平成30年度から道徳の教科化が始まりますので、その準備のための予算が増額されています。

次に5ページを御覧ください。いわゆる貧困対策として、大学等へ通うための奨学金制度の充実という内容が盛り込まれています。

次に6ページを御覧ください。施設改修の関係です。老朽化対策やトイレ改修などの関係ですが、残念ながら19億円の減額となっています。これについては資料にも記載がありますが、今年度10月にありました国の第2次補正予算で、前倒しで大幅に予算を計上した経過によるものです。

最後に7ページを御覧ください。芸術文化の関係です。ここに日本遺産関係の予算がありまして、14億円計上されています。伊勢原市も日本遺産2年目の補助金として、ここの予算から交付される予定です。

全体的に、いじめや不登校対策、それから特別支援教育の充実、貧困対策、あ

るいは義務教育から大学までのそれぞれの段階において、国際社会で通用する人材の育成などに重きが置かれているといった予算編成となっています。

日程ですが、今月20日に召集されました通常国会で審議され、例年ですと3月に承認され、成立といった流れになる見込みでございます。

続きまして、神奈川県の情報です。資料1-2を御覧ください。子ども自立生活支援センターのオープンについてです。

神奈川県は、平成29年4月に「乳児院」「情緒障害児短期治療施設」「障害児入所施設」の3つの施設を統合した「子ども自立生活支援センター」を県内で初めて開設します。場所は、平塚市片岡の県立五領ヶ台高校の跡地です。

この施設に入所するお子さんの対象地域は、神奈川県が所管する地域です。つまり横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市を除いた地域のお子さんが対象です。この支援センターの開設に伴いまして、横浜市港南区にありました障害児入所施設の県立ひばりヶ丘学園、青葉区にありました児童養護施設・乳児院の県立中里学園は閉園となると伺っています。

また、この支援センターの中に、平塚市立の小学校の分校が設置されるということですので、県内各地から先生方が派遣配置されるということです。伊勢原市からも1名派遣する予定になっています。3つの機能の施設の概要については、資料の裏面に記載されていますので、後ほど目を通していただければと思います。

次に成人式についてです。教育委員の皆様には、御参式いただき大変ありがとうございました。天候も心配されましたが、特に問題なく穏やかな成人式ができたと思います。

本市の新成人は、1,137人、昨年よりも120人多いです。実際の式への参加者は男性407人、女性367人、合計774人、参加率68.1%で、若干、昨年から下がっています。以上になります。

○委員長【永井武義】 それでは、御意見、御質問などございましたらお願いいたします。

○委員【渡辺正美】 2点ほどよろしいでしょうか。1点目ですが、文部科学省の予算関係で、いじめ・不登校対策の推進の中で、スクールソーシャルワーカーの配置充実がありますが、これに関連して、伊勢原市、あるいは神奈川県という単位でも結構ですが、具体的に配置が増えるのでしょうか。2点目は、成人式の参加人数ですが、これまで7割以上を推移していましたが、今回68.1%ということで、大差ないといえはそれまでですが、何か特別な理由があったのでしょうか。以上2点をお尋ねします。

○教育センター所長【本多由佳里】 最初の質問のスクールソーシャルワーカーについてですが、現段階では、県からは特に情報はきていません。

市でも29年度予算の編成作業を行っている最中ですが、本年度並みの人員配置という内容となっています。ただ、学校にとってスクールソーシャルワーカーは非常に有用なものと認識されていますので、学校と相談しながら専門性が活かされるように効果的に活用を図って取り組んでいきます。

○教育長【鈴木教之】 今後、国の29年度予算が成立するという見込みの中

で、いずれ県から情報がくると思います。ただ、予算規模をみますと、増えたとしても1ヶ月の巡回日数が多少増えるといった内容だと思います。

○教育部長【谷亀博久】 2点目の成人式の参加人数ですが、所管の青少年課に下がった理由を確認したのですが、現時点では、これといった理由は分かっていないということでした。2月に成人式実行委員会が開かれ、そこでもう少し掘り下げて検証していきたいとのことでした。

○教育長【鈴木教之】 これについては、現場の先生は何となく感触をつかんでいる可能性はあると思います。

○委員長【永井武義】 他にございますでしょうか。

○委員【重田恵美子】 文部科学省の予算関係で、文化芸術立国実現に向けた文化プログラムの推進のところで、12億円の予算増となっており、具体的に先進的文化芸術創造拠点形成事業等がありますが、伊勢原市としては、このような国の取組に準じて何か計画はあるのでしょうか。

○教育長【鈴木教之】 結論から言うとございません。こういった事業は、文化芸術施策を強力に推進している自治体、例えば、今は相模原市になりましたが、昔の藤野町だった頃は「芸術の町」を標榜し、芸術文化の振興や街おこしを行っていましたが、そうした取組に絡めた事業になると思います。伊勢原市では、そういったことを日本遺産という形で取り組んでいるということでした。

○委員【重田恵美子】 分かりました。

○委員長【永井武義】 では、私からも2点あります。1点目ですが、重田委員の発言にも関連するのですが、国の動向については興味深いものがありまして、私たちの市政にどの程度影響があるのか、あるいは反映できるのかということは考えていかなければならないと思います。また、伊勢原市においても未来への先行投資という観点で、各担当部署ではこうした国の取組等を参考にして事業を検討していただきたいと思います。

次に2点目です。同じく国の予算の関係ですが、教職員の加配定数の改善について示されており、小学校専科指導ということで、外国語については、英語の小学校での教科化に向けての対応だと思いますが、その他に理科・体育という記載があります。この二つの教科について、伊勢原市としての今後の対応等があればお教えいただければと思います。

○指導室長【石渡誠一】 こちらの定数の改善については、全国で165人ということで、なかなか市に直接反映してくるといった可能性は低いと思います。本市では、これまでも小学校教科担当制を推進してきており、理科や体育といった教科についても、それぞれの学校の特色を生かした中で進めている状況ですので、引き続き教育委員会としても支援していきたいと考えております。

今年度については、中沢中学校から理科の先生を伊勢原小学校に派遣して授業を行っています。その他の2校については、今年度で2年間の取組を終えますので、現在は、来年度からの新たな学校について調整している段階です。学校数については、3校を予定しております。

なお、英語については、小学校3年生からの外国語活動、5年生からの教科化

を見据え、英語の専科指導の導入というよりは、まずは学級担任がしっかりと授業を行っていくことを念頭に、現在、教育委員会では、どのように支援していくかを検討しています。

○委員長【永井武義】 今、御説明がございましたが、教育内容については、なかなか一般の人は分かりづらいものがありますので、国や県の動き、あるいは市の教育の動き、例えば、今お話しがありました伊勢原小学校での専科教員による理科の授業なども外に向けて発信していけば、教育の見える化につながるのではないのでしょうか。

そしてもう1点、子ども自立生活支援センターについてですが、当座の入所者の募集や広報といった周知は始まっているのでしょうか。また、伊勢原にも対象のお子さんがいらっしゃるのでしょうか。

○教育長【鈴木教之】 この件について、就学相談での状況はどうですか。

○教育センター所長【本多由佳里】 来年度については、伊勢原からこちらの支援センターに入るお子さんはいらっしゃいません。

○教育長【鈴木教之】 横浜の施設が廃止されるので、多分そちらから移ってくるお子さんが多いのかなと思います。

○委員【菅原順子】 多分、児童相談所からの紹介が多いのではと思います。

○教育長【鈴木教之】 おっしゃるとおりで、この施設は、ベースが福祉的措置からきているものです。

○委員長【永井武義】 分かりました。ありがとうございます。

○委員【菅原順子】 よろしいでしょうか。成人式の感想ですが、大変すばらしい式で感動しました。委員の方々が先頭に立って、自分たちで式を作っているという意識が感じられ、実行委員も参加している新成人の方も本当に素晴らしくて感激しました。

○委員長【永井武義】 他にないようでしたら次に移らせていただきます。

----- ○ -----

日程第3 議案第1号 平成29年度伊勢原市立小中学校で使用する体育の教材について

○委員長【永井武義】 日程第3、議案第1号「平成29年度伊勢原市立小中学校で使用する体育の教材について」、提案説明をお願いいたします。

○教育長【鈴木教之】 議案書の1ページを御覧ください。伊勢原市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則第10条の規定に基づきまして、教育委員会での承認が求められておりますので、伊勢原市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則第2条第1項第10号の規定によって提案をするものでございます。

平成29年度に市内の小中学校で使用する教科用図書については、既に7月の教育委員会定例会において採択されましたが、教科書の発行されていない教科の

主たる教材として使用する教科用図書、いわゆる準教科書についても教育委員会の承認を求めることが規定されております。

よって、平成29年度の市内小中学校において使用する準教科書に当たる体育の教材について、承認を求めるものでございます。

伊勢原市では、市内の小学校及び中学校でそれぞれ研究会を組織いたしまして、教材を検討しております。その結果、小中学校長から議案書2ページに記載がございます教材の使用について、承認を求める申請がありました。

小学校では教材名が「体育の学習」、発行所は株式会社光文書院で、主な申請理由として、手本となる運動の様子が写真で示されており、児童が運動のイメージを持ちやすいなどが挙げられています。

中学校では教材名が「中学体育実技」、発行所は株式会社学研教育みらいで、主な申請理由として、図解が見やすく、ルール説明や解説が分かりやすいなどが挙げられています。以上でございます。

○委員長【永井武義】 ありがとうございます。

御意見、御質問等がありましたらお願いいたします。

○委員【渡辺正美】 教材そのものは、去年と変わっていますか。

○指導室長【石渡誠一】 小中学校ともに変わっていません。

○委員長【永井武義】 とても分かりやすい内容ですね。

他に御意見、御質問ございませんので、採決に入らせていただきます。

日程第3、議案第1号「平成29年度伊勢原市立小中学校で使用する体育の教材について」、承認の方は挙手をお願いいたします。

○委員全員 挙手。

○委員長【永井武義】 挙手全員。よって本案は原案のとおり承認いたしました。

----- ○ -----

日程第4 議案第2号 平成28年度伊勢原市教育委員会表彰被表彰者の決定について

○委員長【永井武義】 続きまして日程第4、議案第2号「平成28年度伊勢原市教育委員会表彰被表彰者の決定について」、提案説明をお願いいたします。

○教育長【鈴木教之】 議案書の3ページを御覧ください。伊勢原市教育委員会表彰規程第6条の規定により、教育委員会が選考を行うことになっているため、伊勢原市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則第2条第1項第15号の規定により提案するものでございます。

表彰の基準ですが、11ページの伊勢原市教育委員会表彰規程を御覧ください。その第2条に、学校教育及び社会教育の振興に努め、特にその功績が顕著な者、市立小学校、中学校の県費負担教職員で、永年勤続し職務に精励、特に功績があったと認められる者、その他特に表彰に値すると認められる者という規定がござ

います。

今年度の被表彰者でございますが、4ページからの推薦調書を御覧ください。まず学校教育関係でございます。成瀬小学校で長年にわたりボランティアとして学校行事やPTA活動を支援していただいた団体、同様にボランティアとして大田小学校で支援活動をしていただいた団体、計2団体の推薦です。

次に、学校嘱託医及び眼科医では、長年にわたり児童の健康診断や学校保健安全計画の策定に当たっての指導・助言をいただき、学校保健の充実・向上に御尽力いただきました2名の方の推薦。

また、学校嘱託薬剤師では、長年にわたりまして学校内の飲料水やプールの水質検査等、学校内の環境衛生に御尽力いただきました2名の方の推薦でございます。

次に社会教育関係でございますが、5ページの真ん中からになります。計17名の方を推薦いたします。

まず、ボランティア活動として御貢献された方々です。平成12年のいせはら生涯学習ボランティア協会の発足以来、初代会長として16年間会長職として会の運営や地域の生涯学習の推進に御尽力され、本市の社会教育の推進に多大なる御貢献をされた方、また、平成18年の成人式実行委員会の委員長を務められ、その後、成人式実行委員会のOB会長として長年にわたり成人式の運営に携わり、御貢献をいただいた方、また、マンスリーウォーキングの会代表として、長年にわたり教育委員会主催のマンスリーウォーキングをボランティアとして支えていただいた方、計3名の方を推薦いたします。

次に6ページを御覧ください。非常勤特別職やその他の役員を長年にわたり務めていただいた方々です。

まず、様々なボランティア活動を通して地域の活性化に御貢献された伊勢原市地域婦人団体連絡協議会の役員が1名、様々な文化芸術活動を通して本市の生涯学習の推進に御貢献されました伊勢原市文化団体連盟の役員3名、7ページに移りまして、専門的な見識によりまして、スポーツの振興及び健康増進に御貢献されましたスポーツ推進審議会の委員3名、本市のスポーツ事業、競技スポーツの普及・推進に御貢献いただきました体育協会の理事2名、地域のスポーツ振興に御貢献いただきました体力づくり振興会役員5名、合計14名の方々を推薦いたします。

9ページ、10ページには、教職員の永年勤続関係でございまして、管内の小中学校で20年以上勤続し、職務に精励されました4名の教員の推薦となります。

以上、学校教育関係4名2団体、社会教育関係17名、永年勤続教職員4名の方々を被表彰者として提案させていただきます。

表彰式は3月1日水曜日、市役所で開催を予定しております。以上でございます。

○委員長【永井武義】 ありがとうございます。

御意見、御質問などがございましたらお願いいたします。

○委員【菅原順子】 学校嘱託薬剤師の方が飲料水やプールの水質検査等、学

校における安全衛生全般にわたって担っていただいておりますが、子どもたちにはもっとそのことを知って欲しいと思います。例えば草花の手入れをしてくださるボランティアの方や健康診断をしてくださるお医者さんは一目瞭然ですが、あまり子どもたちの目に触れないところでお仕事をされている方々を知ってもらう機会があったらいいなと感じました。

○学校教育担当部長【大高敏夫】 どこの学校でも子どもたちに対しては、環境衛生検査の日には、薬剤師の方が来られて教室の点検や水質検査を行うといった内容の話はしていると思います。

○委員長【永井武義】 他に何かございますか。

それでは、採決に入らせていただきます。

日程第4、議案第2号「平成28年度伊勢原市教育委員会表彰被表彰者の決定について」、承認の方は挙手をお願いいたします。

○委員全員 挙手。

○委員長【永井武義】 挙手全員。よって本案は原案のとおり承認いたしました。

----- ○ -----

日程第5 議案第3号 平成28年伊勢原市スポーツ賞表彰被表彰者の決定について

○委員長【永井武義】 続きまして日程第5、議案第3号「平成28年伊勢原市スポーツ賞表彰被表彰者の決定について」、提案説明をお願いいたします。

○教育長【鈴木教之】 議案書の13ページを御覧ください。これにつきましては、伊勢原市スポーツ賞表彰規程第6条の規定により、教育委員会に諮ることになっていきますので、伊勢原市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則第2条第1項第15号の規定に基づき提案するものです。

表彰基準ですが、19ページに規程がございます。その第2条で、表彰の種類と対象を規定しております。スポーツ賞は中学生以上の個人又は団体が対象になります。スポーツ奨励賞は小学生以下の個人又は団体が対象となっています。

第3条で表彰の基準を規定しております。全県的大会において優勝したとき、関東的規模の大会で優勝又は準優勝したとき、全国的規模の大会において3位までに入賞したとき、世界的規模の大会において8位までに入賞したとき、全県的規模以上の大会において記録を更新したとき。このいずれかに該当する場合には対象となると規定しています。

14ページにお戻りいただきまして、スポーツ賞の候補者が個人で60名、団体が4団体です。

17ページはスポーツ奨励賞です。個人が34名、団体は3団体という内容です。

以上、個人の合計が94名、団体7団体を対象として提案をさせていただきます。表彰式は同じく3月1日、水曜日、青少年センターでの開催を予定しております。以上、よろしく願いいたします。

○委員長【永井武義】 ありがとうございます。

御意見、御質問などがございましたらお願いいたします。

○委員【重田恵美子】 競技名を見ていくと、現在人気がある卓球が入っていないようですが。

○指導室長【石渡誠一】 人数的にはかなり多くの子がやっているのですが、その分周りもレベルが高く、県大会レベルだと上位進出は難しいといった状況です。

○委員【重田恵美子】 分かりました。

○委員長【永井武義】 他にございませんか。

無いようですので、採決に入らせていただきます。

日程第5、議案第3号「平成28年伊勢原市スポーツ賞表彰被表彰者の決定について」、承認の方は挙手をお願いいたします。

○委員全員 挙手。

○委員長【永井武義】 挙手全員。よって本案は原案のとおり承認いたしました。

----- ○ -----

その他事項

○委員長【永井武義】 続きまして、その他事項でございますが、委員の皆さんから何かございますか。無いようですので、それでは事務局からお願いいたします。

○社会教育課長【小谷裕二】 社会教育課から、資料3の平成28年度公民館まつりについて説明いたします。

日程ですが、前半は、2月18日土曜日、19日の日曜日で、高部屋、比々多、成瀬、伊勢原南の4館で開催します。後半は、25日土曜日、26日の日曜日で、中央、大山、大田の3館で開催します。中央公民館は24日金曜日から開催いたします。

開催の目的は、公民館で活動している人たちの成果の発表の場ですとか、地域団体との触れ合い、交流の機会ということで大きく変わることはありませんが、内容としては、展示発表を見に来ていただくだけでなく、地域の子どもたちにまつりの進行に携わってもらったり、来館していただいた方々に参加・体験してもらうようなイベントを行ったりと、普段の公民館利用者に加え、広く地域の皆さんに楽しんでいただけるメニューを増やすなど、各館それぞれの特色を織り交ぜながら準備を進めているところです。

1年で一番寒い時期にあたりますが、是非委員の皆様にも御来場いただきたく、御案内申し上げます。以上になります。

○スポーツ課長【小巻宏幸】　　続きましてスポーツ課から4件報告をさせていただきます。

まず、1件目の大山登山マラソン大会の申込み者数についてです。資料4を御覧ください。既に御案内のとおり、日本遺産認定記念第32回大山登山マラソンは、3月12日の日曜日、例年どおり伊勢原駅北口をスタートし、大山阿夫利神社をフィニッシュとする全長9キロのコースで実施をいたします。

参加申込み状況ですが、昨年11月1日からインターネットの申込みと、郵便振替による申込みの二通りの方法で参加受け付けを行いました。その結果、定員2,000名に対しまして、11月25日時点で定員を超えましたので、申込みを締め切りました。参加申込み者数は2,771名で、昨年度とほぼ同数です。

現在把握できているデータでの参加者居住別内訳は、伊勢原市から295名で、全体の約11%です。本市を除く県内市町村からの参加者数は1,469名で、全体の約53%です。県内参加申込み総数は1,764名で、全体の約7割近くを占めています。県外からは、北は北海道、南は沖縄まで、1都1道2府25県から886名の参加申込みをいただいております。年齢性別により7部門を設けており、それぞれ部門ごとにスタートいたします。

当日はゲストランナー5名と招待選手1名を招き、また、日本遺産の「大山詣り」のパフォーマンスによりまして大会を盛り上げていきたいと考えています。

委員の皆様方には改めて御案内をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

次に2件目の住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー」への参加についてです。資料5を御覧ください。来年度5月31日水曜日に、笹川スポーツ財団によります「チャレンジデー」に、4回目の参加をする予定です。

実施内容については、基本的に今年度と変わりなく、実施日の午前零時から午後9時までの間で、15分以上、運動やスポーツ等を行った住民の参加率を他の自治体と競うイベントとなっております。

本年度の参加率は53.1%となっており、着実に向上しております。過去の対戦成績は3戦3敗で、3年間の悔しい思いがございますので、来年度こそは過去3年の経験を踏まえまして、事前のPR活動や運動後の市民からの報告方法等の改善を図りまして、市民の方々により分かりやすく、参加しやすい環境を整えて挑戦したいと考えております。

本年度の神奈川県内の参加市町は3市7町でしたが、来年度は秦野市も参加すると伺っておりますので、両市で協力・連携を図りながらお互い初勝利を目指して頑張っていければと思っております。

対戦相手につきましては、3月の初旬ごろ決定される予定となっております。

続いて3件目の伊勢原駅伝の結果についてです。資料6を御覧ください。

第34回伊勢原駅伝競走大会は、去る1月15日の日曜日に、晴天のもと開催をいたしました。委員の皆様方におかれましては、開会式に御出席いただきまし

で大変ありがとうございます。また、大きな事故や怪我もなく無事終了することができました。

結果につきましては、伊勢原駅伝の部の出走チーム数は、地区駅伝の部で11チーム、一般の部で55チーム、参加総数は412名。また、ミニ駅伝の部の出走チーム数は小学生男子が29チーム、小学生女子が12チーム、参加総数は238名でした。

また、ミニ駅伝終了後、専修大学ラグビー部と野球部の方々の御協力によりまして、ラグビーと野球の体験教室を開催していただき、大学生と小学生の交流が図られ、子どもたちにとって良い経験になったと思います。

なお、専修大学からは、協賛団体として、両駅伝にそれぞれ賞品を提供していただきました。

今回は伊勢原駅伝の部とミニ駅伝の部について、開会式から会場を分けて実施いたしました。関係者の方々には、会場を分けることによりいろいろと御負担をおかけしました。次回の大会に向けまして今回の反省点を踏まえ、さらにより良き大会にしていきたいと考えております。裏面には、部門ごとの結果等を記載しております。また、委員さんのお手元、机上には各部門別の詳細な成績結果を置かせていただいておりますので、後ほどお目通しをいただければと思います。

大会の結果につきましては、既に市のホームページに記載をしております。また、2月15日号の「広報いせはら」で市民の方にお知らせをします。

次に4件目の第71回市町村対抗ながわ駅伝競走大会です。資料7を御覧ください。来月2月12日の日曜日に、秦野市カルチャーパークをスタートし、県立相模湖公園までの7区間51.5キロで県内の30市町が争います。

裏面を御覧ください。本市域での選手の通過予定時間は、善波バス停付近が9時27分頃、第2中継所となっております白根自治会館前が9時38分頃、愛甲石田駅前付近が9時53分頃となっております。

伊勢原市の選手はゼッケン15番を付けて力走いたします。1人でも多くの方々に沿道での熱い応援をしていただきたく、2月1日号の広報いせはらで周知をいたします。スポーツ課からは以上になります。

○教育総務課長【古清水千多歌】 教育総務課から3件御案内させていただきます。

まず、平成28年度第2回総合教育会議です。開催日時は平成29年1月31日火曜日、午前10時からとなります。会場は市役所3階議会全員協議会室となっておりますので、よろしく願いいたします。

次に、平成28年度伊勢原市教育委員会表彰及び平成28年スポーツ賞表彰表彰式の日程です。どちらの表彰式も開催日は平成29年3月1日水曜日の市制記念日に執り行います。開催時間と会場は、教育委員会表彰は午後3時から市役所2階2C会議室、スポーツ賞表彰は午後3時50分から青少年センター3階集会室となっております。違う場所での開催となりますが、よろしく願いいたします。

最後に、教育委員会2月定例会について。こちらは平成29年2月20日の月

曜日、午前9時30分から市役所3階第3委員会室において開催いたしますので、よろしくお願ひいたします。

○委員長【永井武義】 ただいまの事務局からの報告で、御意見、御質問などがございましたらお願ひいたします。

無いようでしたら私から1点よろしいでしょうか。先ほどスポーツ課長から御報告がありました駅伝競走大会についてですが、私も専修大学のグラウンドに昨年に引き続き伺い、改めて施設のすばらしさを感じました。そういった素晴らしいグラウンドの中を子どもたちが走ることができることは、本当にいいことだと思いますし、さらに今回はラグビーと野球の2種目でスポーツ体験教室が開催され、それぞれ100人以上の参加があったということで、大変関心も高く、子どもたちにとっても良い経験となったと思います。

本日、市内の小学校で元日本代表のラグビー選手の指導によってタグラグビーの教室もあると伺っております。体力の向上だけではなく、一流選手の指導を受けることも非常に良い経験になりますし、また、チームスポーツを通してコミュニケーション能力が高まることも期待されますので、こういった機会をどんどん広げていただきたいと思います。

それでは、他になければ本日の教育委員会議はこれをもって閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

----- ○ -----
午前10時25分 閉会

《会議配布資料》

- 資料 1-1：平成29年度文部科学関係予算(案)のポイント（抜粋）
- 資料 1-2：「子ども自立生活支援センター」について
- 資料 2：成人式参加人数
- 資料 3：平成28年度 伊勢原市立公民館まつりの開催について
- 資料 4：日本遺産記念第32回大山登山マラソン大会 参加申込状況
- 資料 5：住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー」の平成29年度参加について
- 資料 6：第34回伊勢原駅伝競争大会 大会結果概要
- 資料 7：第71回市町村対抗かながわ駅伝競争大会